

## 港区小碓学区

# 震災避難行動マップ

### わが家の津波避難先

①

②

津波避難先は、避難者の殺到に備えて、あらかじめ2か所以上考えておきましょう



# 地震発生！災害時の対応

## 南海トラフ巨大地震発生時の特性と対策

南海トラフ巨大地震（あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震）が発生した場合、**小碓学区**では震度6強の非常に激しい揺れが想定されます。自分の身を確実に守るために、家具の転倒防止や住宅の耐震化などの対策をしましょう。

**津波は名古屋港に最短96分※で到達し、その後、最大3.6mの津波**が到来すると想定されています。津波が見えてからでは間に合わないので、限られた時間を使って津波避難ビルに避難しましょう。また、**液状化現象**も起きる可能性が高く、**堤防の沈下による河川の氾濫**だけではなく、建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出でて通れなくなるおそれもあります。

これらを踏まえて、**適切な避難先、そこまで安全にたどり着くための経路を日頃から確認しておきましょう。**

※30cmの津波が到達する時間。30cmの津波でも、足を取られて流される危険性があります。

- 倒れそうなタンスなどの家具、ガラス戸から離れる
- 机の下に隠れて、低い姿勢で身を守る
- 屋外にいる場合は、建物やブロック塀など、倒壊のおそれのある場所からすぐに離れる



- 扇を開けて出入口を確保する
- 安全を確かめて火を消す、ガスの元栓を閉める
- ブレーカーを落とし、水道の元栓を閉める
- 家族、隣近所に声かけし、安否を確認する
- テレビやラジオ等で正しい情報を収集する

揺れが  
収まった

津波避難ビルを  
目指して  
避難開始

地震発生

津波から  
安全に避難  
するための  
5つの  
ポイント

①揺れが収またら  
非常持出品を持って、  
津波避難ビルに避難！



②隣近所に声をかけ、  
原則、徒歩で避難！



③高齢者や障がいの  
ある方などの避難  
支援を！



④引き返さない！  
安全確認が済むまで  
避難継続を！



⑤海岸や河川には  
絶対近づかない！



## 津波発生時の地域での声かけ・手助け

隣近所、地域による「声かけ」と「手助け」が皆さん大切な命を守ります。

地震の揺れが収まった後は、**隣近所、地域の皆さんで声かけ**し、助けを必要とする方がいないか、確認しましょう。

また、**日頃から避難に困る方を把握・共有**し、災害が発生した時には、いち早く助けることができるようにしておきましょう。

### 情報の入手や判断が難しい方

(例えはこんな方)  
目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語の苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など  
(対応方法)



### 移動が難しい方

(例えはこんな方)  
普段、杖や押し車、車椅子などを使っている方、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦など  
(対応方法)



### 戸建て住宅にお住まいの方

- ①町内の組単位で声かけし、無事を確認しあう
- ②無事を確認できた住民同士で、無事を確認できないお宅に大きな声で声かけし、無事を確認する
- ③一人で避難できない方を助けながら、近くの津波避難ビルに避難する
- ④津波到達予測時刻の30分前までに避難完了する

### 集合住宅にお住いの方

- ①お住いの階ごとに声かけし、無事を確認しあう
- ②無事を確認できた住民同士で、無事を確認できないお宅に大きな声で声かけし、無事を確認する
- ③一人で避難できない方を助けながら、火災や倒壊の危険がない場合、住宅の3階以上に避難する
- ④津波到達予測時刻の30分前までに避難完了する

避難してくる近所の  
住民を快く、  
迎え入れましょう

津波警報解除  
避難勧告解除

## 災害の危険解消

### 自宅での滞在が可能か



※避難所は小碓学区災害対策委員、市職員、または施設管理者が施設の安全確認をした上で開設する。